

今月の K Y T （危険予知トレーニング）

幅員の狭い上り坂の頂上付近に差しかかりました。

前方には自転車を運転している高齢者と子供の姿が見えます。

自車はこのまま進んでいきたいのですが……。

下記のKYTトレーニングを実施し、自己の危険予知能力を高めましょう！



◎ 予想される危険を記入して下さい。 氏名 _____

1 _____

2 _____

3 _____



知ト 予 険 危 ポ イ ン ト

- ① バランスを崩してふらついた自転車に衝突する。
- ② 前方から来た車に気づくのが遅れて衝突する。

自転車の動静に注意を払う

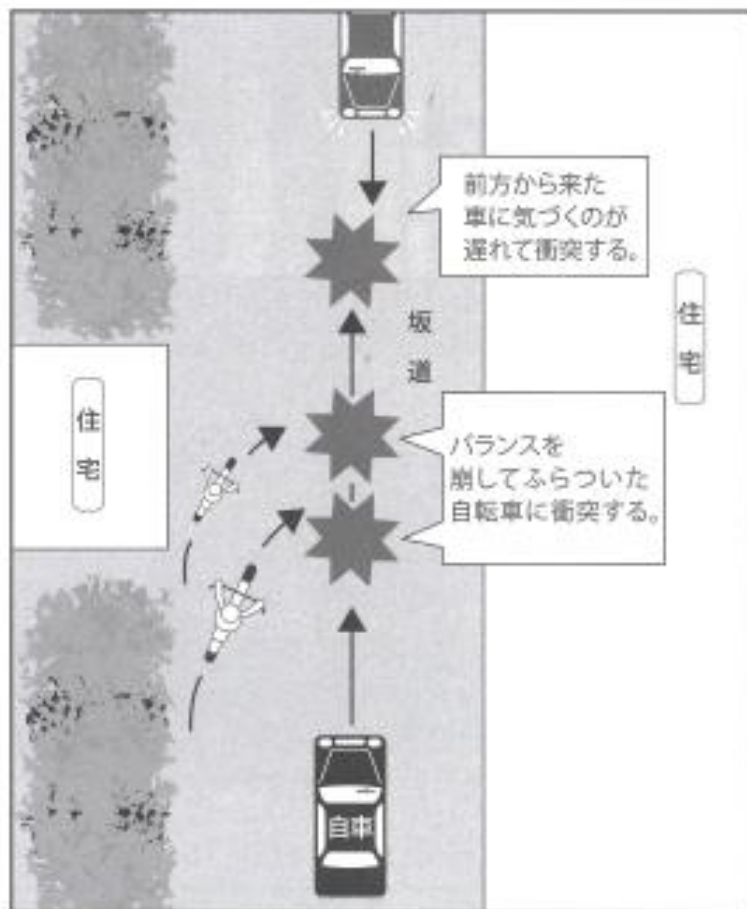
左前方の自転車がバランスを崩してふらつき、自車の前に出てくることが考えられます。

とくに子供や高齢者が運転する自転車はバランスを崩しやすいため、側方を通過する際はその動静に注意して十分な側方間隔を保ちましょう。

坂道を上ってくる車を予測する

上り坂の頂上付近は坂道が死角をつくるため、対向車の接近がわかりません。漫然と運転していると坂の向こうから来た車と衝突する危険があります。

上り坂の頂上付近では対向車を予測するとともに、徐行を徹底しましょう。



坂道の頂上付近では対向車を予測しておこう。

KYT(危険予知訓練)は、交通場面を見て、どこに、どういう危険があるかを想像することで、危険を予測する訓練法です。

日々KYTを行い、危険感受度を高めて危険回避に役立てましょう。

※ 毎月配信しています。有効に活用し事故防止にお役立てください。